



佐久水道新聞

No.123

2018年(平成30年)

11月1日発行

発行/佐久水道企業団

E-mail info@sakusuidou.or.jp

▶主な目次

平成29年度決算、議会だより (2)

水くらしFreeトーク、雫 (3)

水フェスin佐久2018、親子ふれあい学級、
水道施設見学会、Topics (4)(5)

企業団からのお知らせ..... (6)



この新聞はエコマーク認定の古紙配合率80%の再生紙を使用しています。

打ち水大作戦

“ラッピングバスとコラボ” 酷暑に克つ



佐久平交流センター
(佐久市)

平成29年度の決算状況をお知らせします

皆様に安心して利用していただける水を安定してお届けするため、平成29年度は「配水池築造工事、老朽管の更新工事」などの事業に取り組みました。

水道水をお届けするための収入と支出

※金額は消費税を含みません。

業務量

- 給水戸数 51,121戸
- 年間給水量 15,245,303m³
- 年間有収水量 12,992,932m³※
- 新設給水工事件数 597件

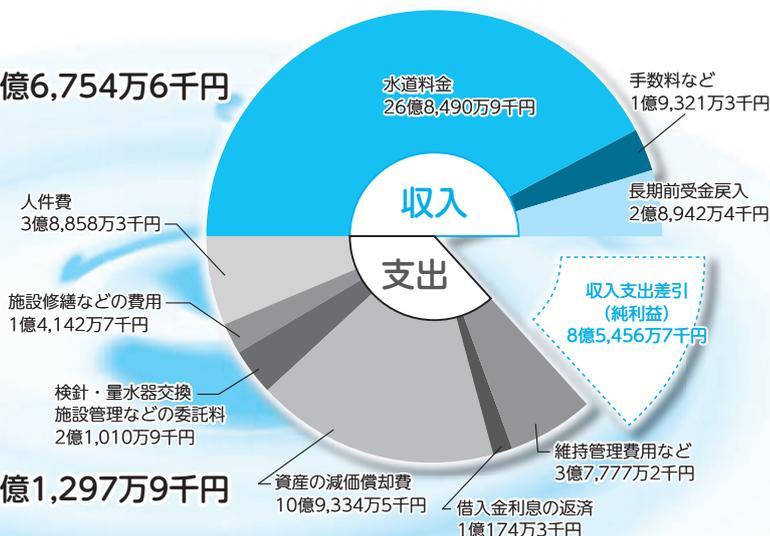
※年間有収水量とは年間給水量のうち水道料金の対象となる水量です。
1m³=1,000ℓ

収支状況

収入総額は31億6,754万6千円、支出総額は23億1,297万9千円で純利益は8億5,456万7千円となりました。この純利益は一部を施設の建設及び改良工事のための資金として積み立て、残りは資本金へと組み入れられます。

収入額 31億6,754万6千円

支出額 23億1,297万9千円



水道管や施設を新しくするための収入と支出

※金額は消費税を含みます。

主な事業

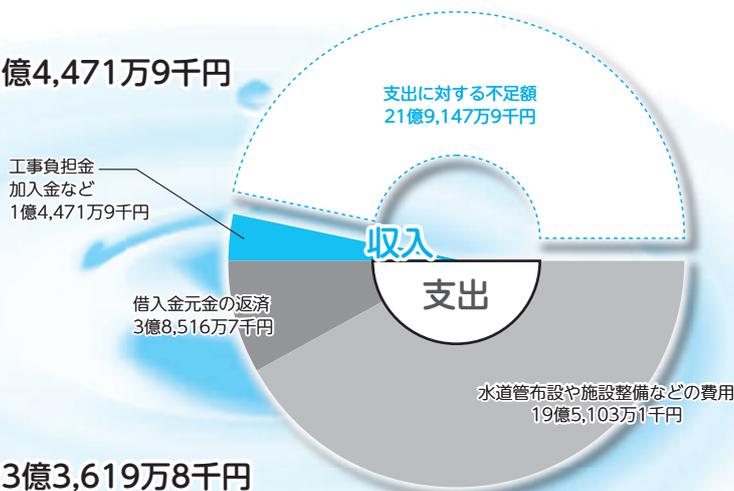
- 都沢配水池築造工事
- 泉野団地配水管布設替工事ほか老朽管の更新工事
- 配水池及び水源の施設改修工事

収支状況

収入総額は1億4,471万9千円、支出総額は23億3,619万8千円となり21億9,147万9千円の不足となりました。この不足分については、内部留保資金と積立金などで補てんしました。

収入額 1億4,471万9千円

支出額 23億3,619万8千円



議会だより

平成30年第2回佐久水道企業団議会定例会が、8月9日に開かれ、次の議案が可決、認定されました。

【条例】

- ◎ 佐久水道企業団職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ▼ 非常勤職員の育児休業を最長で子が2歳に達するまで取得できるとするもの。

- ◎ 佐久水道企業団企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ▼ 子育て支援策として、子に係る扶養手当の引き上げを行うもの。

【決算】

◎ 平成29年度佐久水道企業団水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

水くらし Freeトーク



●黒澤 孝夫 さん

お住い 佐久穂町穂積

お仕事 黒澤酒造(株)代表取締役社長

佐久地域のボトル水はいかがですか



Q 黒澤酒造さんでペットボトル水を製造・販売を開始した時期についてお聞かせ下さい

A 阪神淡路大震災の年なので、平成7年からです。災害時の備え、日本人も外国人のように水を買って飲むというライフスタイルの変化に伴い需要が増加し、簡易的にペットボトル水が製造できる機械の売り込みが当時あったのではと思います。当社では主に夏場の酒づくりの余裕がある時期に社員の雇用対策として今日まで製造を続けています。

Q 平成23年の東日本大震災の後から企業団の原水持ち込みのペットボトル水を製造されていますが、当時のことなどお聞かせ願いますか

A 3月11日に東日本大震災が起こり、福島第一・第二原発の放射能汚染が懸念され、特に関東圏でペットボトル水の需要が高くなり品薄になりました。

企業団さんから、被災地へペットボトル水を支援物資として送りたいとの申し出があり、その趣旨に賛同

しましたので、在庫をすべて無償で企業団さんへ寄贈しました。その後、ほうぼうからペットボトル水の注文も来ましたが、震災の影響による重油などの燃料入手の先行きの見えない状況で、本業のお酒づくりも4月中旬までには加熱滅菌を行いビン詰めしなければならず、苦労しました。燃料もですが、ペットボトル容器自体の供給の見通しが見つからない状況もありましたので、供給の状況を見ながらペットボトル水の製造を行なったように記憶しています。

原水持ち込みのペットボトル水製造は汚染リスクがあるので、それまではお断りしていましたが、企業団さんが水に関して専門的な知識を持つ公的機関であること、ペットボトル水を被災地などへの支援、広報としてのみ使用し販売を行わないことなどを条件として製造を依頼したいとの申し出をいただき、それらの内容であれば可能であると判断し、6月の下旬には当方では初となる企業団さんのペットボトル水『佐久の水』の製造が始まったように記憶しています。

Q 黒澤酒造さんではお酒やペットボトル水を塩素滅菌しない水で製造されていますが、気をつけていることなどありますか

A 塩素滅菌を行わず製造するため、汚染されるリスクは常に存在していると考えられます。加熱滅菌を適切に行い、HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理に取り組んでいます。

Q 最後に一言いただけますか

A 当社のブランド名でもある『井筒長』とは、おいしい水が出た井戸の囲みと言う意味から井筒と名付けられました。わが社の誇るおいしい水で造ったお酒とペットボトル水を皆様に自信をもって提供し続けたいと考えております。お酒は水分が約80%、ペットボトル水は100%です。企業団さんも同じであるかと思いますが、水が無ければ商売を行うことができません。今後も井戸の管理は適切に行い、水資源を大切にしていきたいと考えています。

水道事業の民営化



日本では、水道法で、水道事業の経営は原則として市町村が行うこととされています。その理由として、水道が国民の日常生活に直結し、健康を守るために欠くことのできないものであること、水は貴重な資源であり、国及び地方公共団体が水源環境を保全する必要があること等が挙げられています。市町村以外の者が水道事業を経営する場合は給水する区域の市町村の同意が必要で、さらに厚生労働大臣の認可を受けなければなりません。他の水道事業者と給水区域が重複することも認められません。地域独占事業といわれる所以です。

しかし、近年、水道事業を取り巻く環境は厳しく、人口減少による収入減、水道施設の老朽化、専門職員の減少等が全国的な課題となっています。特に小規模の水道ほど、経営難に直面しています。

このようなことから、国では、水道法の改正を進めています。事業基盤を強化するため広域化を推進するほか、施設の所有権を地方公共団体に残したまま、事業の運営権を民間団体に任せることができるようになります。これをコンセッション方式といいます。民間のノウハウを活用できるメリットがあるとされており、水道法改正の目玉となっています。

水を学ぼう(佐久市主催)

水フェス in 佐久2018 水資源の有限性、貴重さを学ぶ、水資源開発の重要性



▲浅麓・佐久水道企業団のブースできき水を行っている様子

当日は晴天に恵まれ、佐久水道企業団と浅麓水道企業団は同じブースで熱中症予防のため軟水と硬水の飲み比べを行い、どちらのほうがお好みかシールを貼って判定してもらい、“水”に関する理解と関心を深めてもらう活動をおこないました。

佐久市民が注目している人気漫画「北斗の拳」ラッピングバスのお披露目式と共催し、7月22日に佐久市市民交流ひろばにおいて、水フェスin佐久2018が開催されました。小雀保育園による一斉打ち水(表紙)が行われたほか、水道企業団ブースにてPR活動を行いました。



▲シールを貼って判定。五分五分の戦い

親子ふれあい学級 水源地へ行ってみよう

佐久市浅科公民館主催の親子ふれあい学級が7月27日に開催され、参加された25名の皆様には、水質検査センター、大石水源、五斗水水源をご覧くださいました。



●大川 高輝・勢五くん

水質検査センターで顕微鏡を使って大腸菌を初めて見ました。



●渡辺 琴羽さん

大石水源の水は、1秒間に33リットルも流れているのですね。



●篠原 淳さん・佑斗くん

五斗水水源の水は、6℃なので、暑い夏は冷たく感じますね。

7月4日に佐久市の望月小学校の皆さんが第一(望月)配水池に社会科見学に訪れました。配水池にのぼり、どこまで水は配られているのかを聞き、水の流れを想像していました。



▲第一(望月)配水池(佐久市)

7月12日に佐久市の岩村田小学校の皆さんが御代田浄水場に社会科見学に訪れました。浄水処理の仕組みを見て驚き、児童の皆さんは感心していました。



▲御代田浄水場(御代田町)

◆水道の仕事を経験

～中学生職場体験～

5月28、29日に白田中学校の2年生2名が職場体験学習を行いました。概要の説明後、各課で仕事を体験していただきました。



▲給水検査を経験

水道水の源はどこから

水道施設見学会 自然の恵みを実感



▲稲荷山配水池にて 場所 (佐久市)

佐久水道新聞前号で募集しました水道施設見学会を8月25日、参加者18名で開催し、大石水源、稲荷山配水池、五斗水水源の見学を行いました。

移動中のバスの中で“ききみずく(前号で紹介)”のメンバーによる企業団創設時と市川五郎兵衛のお話を聴き、先人の水に関する歴史に理解と関心を深めました。

次回のご参加をお待ちしております。

大石水源 場所 (佐久穂町)

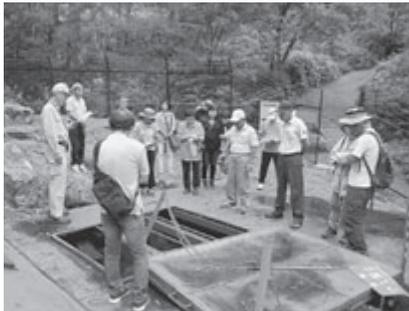


▲集水地点で説明



▲湧水地点の様子

五斗水水源 場所 (佐久市)



▲湧水地点で説明



▲五郎兵衛用水に分水

◆水道の健康をチェック

～給水装置の無料点検を実施しました～

佐久管工事業協同組合と共催で9月13日、70才以上のお客様を対象とした給水装置の無料点検を実施しました。事前に申し込みをいただいた23件のお宅を訪問し、パッキンの交換や漏水の判定などを行いました。

お客様から次のようなコメントをいただきました



樋口さんから
宅内漏水の連絡など
検針員さんにはいつも
親切に対応して
いただいて助かります
ね。



保科さんから
他のお宅ではあまり
見かけない散水栓の
特長などを説明して
いただけるのはあり
がたいですね。



←訪問したメンバーと撮影

Topics



▲残留塩素計を用いて水の安全性を確認

◆じゃ口の水はどこからきているの

～小学生4年生の社会科見学～

6月7日に佐久市の岸野小学校の皆さんが沓沢水源・配水池に社会科見学会に訪れました。配水池の大きさや構造について質問をし、熱心にメモをとっていました。



▲沓沢配水池 (佐久市)

6月13日に佐久穂町の佐久穂小学校の皆さんが大石水源、高野町配水池に社会科見学会に訪れました。水源の大きさに驚き、自然の大切さを感じていました。



▲大石水源 (佐久穂町)

6月18日に東御市の北御牧小学校の皆さんが川瀬 [かわうそ] 水源、第一 (望月) 配水池に社会科見学会に訪れました。きれいな湧水を見て驚き児童の皆さんは熱心に学習していました。



▲川瀬水源 (佐久市)

企業団からのお知らせ

水道管の凍結にご注意ください

❄️ 水道管も冬支度を ❄️

外気温がマイナス4℃以下になると、水道管が凍ったり、破損する可能性が高くなります。凍結して破損した場合は、お客様ご自身で修理を依頼し、費用もご自身の負担となります。水道管の防寒対策を行って、快適な冬を過ごしましょう。



凍結を防止するには

▶凍結防止帯で管理をしている場合

凍結防止帯のコンセントは差してあるか、スイッチは入っているかなどを確認して下さい。

▶不凍栓（水抜栓）で管理をしている場合

不凍栓を完全に閉めて蛇口を全開にして下さい。

※蛇口を開けなければ配管内に水が残り、凍結する場合がありますのでご注意ください。

▶凍結防止帯及び不凍栓がない場合

水道設備業者にご依頼するか、市販の保温材や毛布等で露出管部分を包み、その上からビニールテープ等で巻くなどして保温して下さい。

凍結してしまったら

凍結部にタオル等を当ててぬるま湯をかけて下さい。解氷しない場合は、しばらく間をおいて、繰り返して下さい。



破裂してしまったら

不凍栓か水道メーターBOX内の止水栓で水を止めて、水道設備業者にご相談下さい。

お問い合わせ 配水課維持係 ☎ 0267-62-2308

メーターボックスまわりの雪かきにご協力を

もうすぐ雪の季節です

雪が降り積もると、検針にうかがった際に、水道メーターの位置が分からず困ることがあります。検針を正確に効率よく行うために、メーターボックス周りの雪かきにご協力ください。



お問い合わせ 業務課業務係 ☎ 0267-62-4333

佐久高等職業訓練校 平成31年度訓練生募集!

■募集科 普通課程 設備施工系配管科

■募集定員 10名(最少開講人数3名)

■募集期間 平成30年11月1日(木)～
平成31年1月31日(木)

■お申し込み・お問い合わせ

長野県認定 佐久高等職業訓練校 ☎0267-62-2276

佐久水道企業団では

優秀な配管技能者育成に協力しています



▲実習室にて

▲実習の様子

水道に関するお申込み・お問い合わせ(代表) ☎ 0267-62-1290

水道料金について: 料金係 ☎ 0267-62-4085

引越しについて: 業務係 ☎ 0267-62-4333

水質について: 配水係 ☎ 0267-62-4052

漏水修理: 維持係 ☎ 0267-62-2308

夜間休日は: 宿日直 ☎ 0267-62-2308

ホームページ: <http://www.sakusuidou.or.jp/>